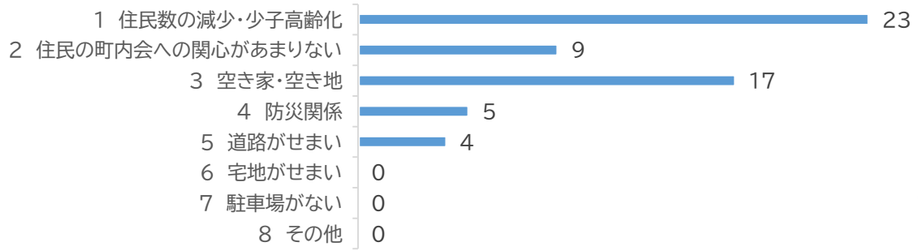
## ③アンケート結果のお知らせ

座談会に向けて高田地区の25町内会を対象に、まちなか居住推進事業についてのアンケートをお願いしました。
結果をまとめましたので報告します。（当日出席19町内会、後日回収6町内会）

### Q 町内の課題や困っていることは何ですか？

※複数回答可

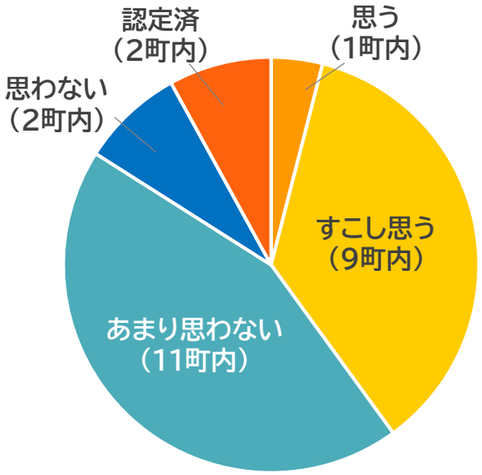



住民数の減少
少子高齢化

空き家・空き地

### Q まちなか居住推進地区の認定に向けて、まちづくりに取り組んでみたいですか？

※複数回答可




#### 取り組みたいと思う主な理由

- 町内で話し合うきっかけにしたい（7町内）
- 支援・補助金制度を受けたい（1町内）
- 地域の課題解決のため（4町内）

#### 取り組みたいと思わない主な理由

- 取りまとめる人の負担が大きい（12町内）
- まちづくりへの住民の熱意が高まっていない（13町内）

町内の課題解決に向け…

**◇行政も一緒に取り組みます!!**
**◇まちなか居住推進地区認定について、新たに希望される町内会は、ご連絡ください!!**

### Q 町内の魅力や良いところは何ですか？

※複数回答可

幼稚園・保育園や
学校が近い

交通の便が良い

## ④今後の取組

- **令和6年度からは、各町内会とも相談しながら、まちなか居住推進地区として認定された町内会を増やしてまいりたいと思います。**
- **まちなか居住推進地区認定に向け、個別の相談や座談会、ワークショップ等も行いたいと思いますので、遠慮なくお声がけ頂ければ幸いです。**

何なりと市に
ご連絡
ください！

発行　上越市まちなか居住推進事業事務局（窓口：上越市 都市整備課 市街地整備係）
E-mail：toshi-shigaichi@city.joetsu.lg.jp
Tel:025-520-5764／Fax:025-526-6112


上越市 まちなか居住　検索

# 上越市まちなか居住推進事業
# 【高田地区】
# ニュースレター Vol.9


【発行年月】
令和６年９月


「まちなか居住推進事業」とは、まちなかに**“これからも住み続けたい”“新たに住んでみたい”“また訪れたい”**と思う人が自然に集まるまちを目指す独自のまちづくりの取組です！ 本紙やホームページを通じて、取組状況を定期的にお知らせしています。

## ①8月29日に高田地区の25町内会を対象に座談会を実施しました

### ①ー1 座談会（ワークショップ）について

ワークショップの状況

各グループの発表

### 座談会（ワークショップ）結果

※事前アンケートをもとにワークショップを行った結果をお知らせします。

坍アドバイザー総括

◇内容◇

・各町内会での課題、問題を情報共有
・まちなか居住推進地区認定に向けたまちづくりの意向を確認

◇主な意見◇

・まちなか居住推進事業には取り組みたいものの様々な課題をかかえている
→少子高齢化、空き家問題、地域コミュニティの希薄
・課題をかかえるなかでも、次世代への引継ぎや、推進地区の町内会に続きたいと、前向きな意見もあった

◇アドバイザーからの総括◇

・「まちづくり」は今の時代で終わるものではなく、続いていくもの
・ぜひ各町内会で若い世代とも話し合い、取り組んでいくことが大切


※次頁にてさらに詳しく→


・町内の課題解決に向けて行政と協働で「まちなか居住推進事業」に取り組みませんか？
・個別の相談や地区の認定について、希望される町内会がありましたら、市へご連絡ください!!

## ①−2 まちなか居住推進地区の町内会からの活動報告

### 大町5丁目

**まちの将来像**

「人と人のつながりがあるまち」ほか

**令和5年の取組状況など**

・健康麻雀大会
・喫茶店、アニメ会社等の進出
・マンション外装工事着手前に協議
　→景観に配慮した改修へ（R6予定）

補助金制度を活用した雁木の修繕

（内容）・外壁、屋根塗装 ・木格子 等

**効果**

・若年層を中心とした“健康麻雀” により横のつながりを生み出している
・大きな変化は見られないが、喫茶店等の進出により細やかな進化→賑わいの創出に繋がる

### 南本町3丁目

**まちの将来像**

「温もりある人びとのくらしが豊かに感じられる味わいある
　まちの形成」

**令和5年の取組状況など**

・雁木を活かした活動・イベント
・上越総合技術高校の生徒とともに雁木塗装
・空き家アンケート（30件調査）

南本町３
インスタ




**効果**

・雁木の特性を活かしたイベント（年に一度開催）を通じて、世代間の交流が図られている
・上越総合技術高校の生徒との塗装作業など、多角的な活動を通じて、雁木保全に繋がっている
・空き家アンケートでは２件の空家マッチング制度への登録に繋がった

## ①−3 まちづくりアドバイザー講演 ～能登半島地震とまちづくり～

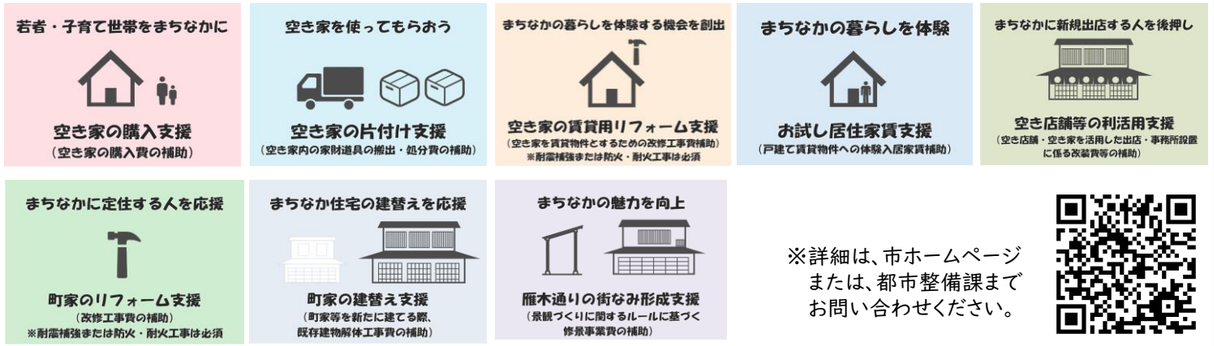
まちづくりの専門家として、本事業に助言をいただいている埒 正浩（らち まさひろ）アドバイザーから講演

1　平時から地震など、**災害への備え**が大切である
2　建築物の**耐震診断、耐震改修**等が求められる
3　救急車両の通れない**狭隘道路の解消**が求められる
4　防災訓練など、**地域コミュニティ活動の充実**が大切である
5　**住民・行政・事業者等の協働**による復興まちづくり

# ②支援・補助金制度

## ②−1 支援・補助金制度の紹介

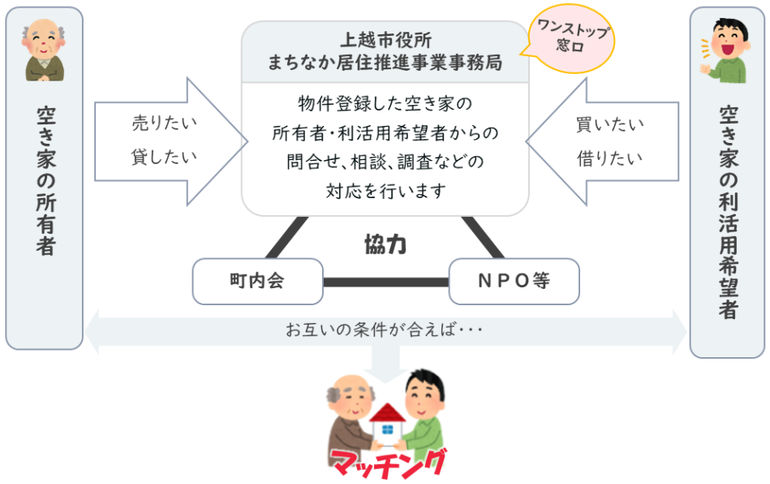
**補助金制度は、まちなか居住推進地区認定を受けた町内会でのみ活用できます**




※詳細は、市ホームページ
または、都市整備課まで
お問い合わせください。

**空き家マッチング制度は、随時受け付けております**（誘導重点区域の町内会対象）

※まちなか居住推進地区以外でも活用可能！



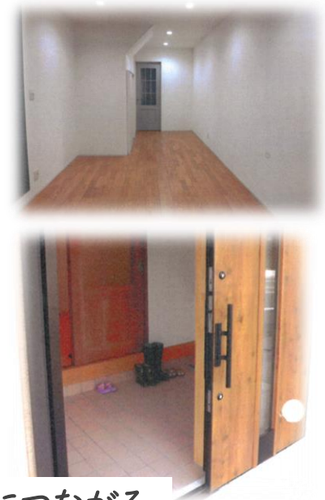

・空き家マッチング制度では、市がワンストップ窓口となり、空き家の所有者等と利活用希望者のマッチング
・「空き家情報バンク」とは異なり、物件情報は原則非公開

※まちなかの空き家を持っているお知り合いの方がいれば、その方に本制度をお伝えくださると幸いです

## ②−2 補助金制度の活用実績

令和5年度は高田地区で7件の補助金制度が活用されました

**◇町家のリフォーム支援（1件）**



工事内容：玄関サッシを防火引戸仕様
断熱ガラス、和室を洋室に改修など

**→3世代で住み続けることにつながる**

**その他活用実績数　◇雁木通りの街なみ形成支援（5件）　◇空き家の片付け支援（1件）**